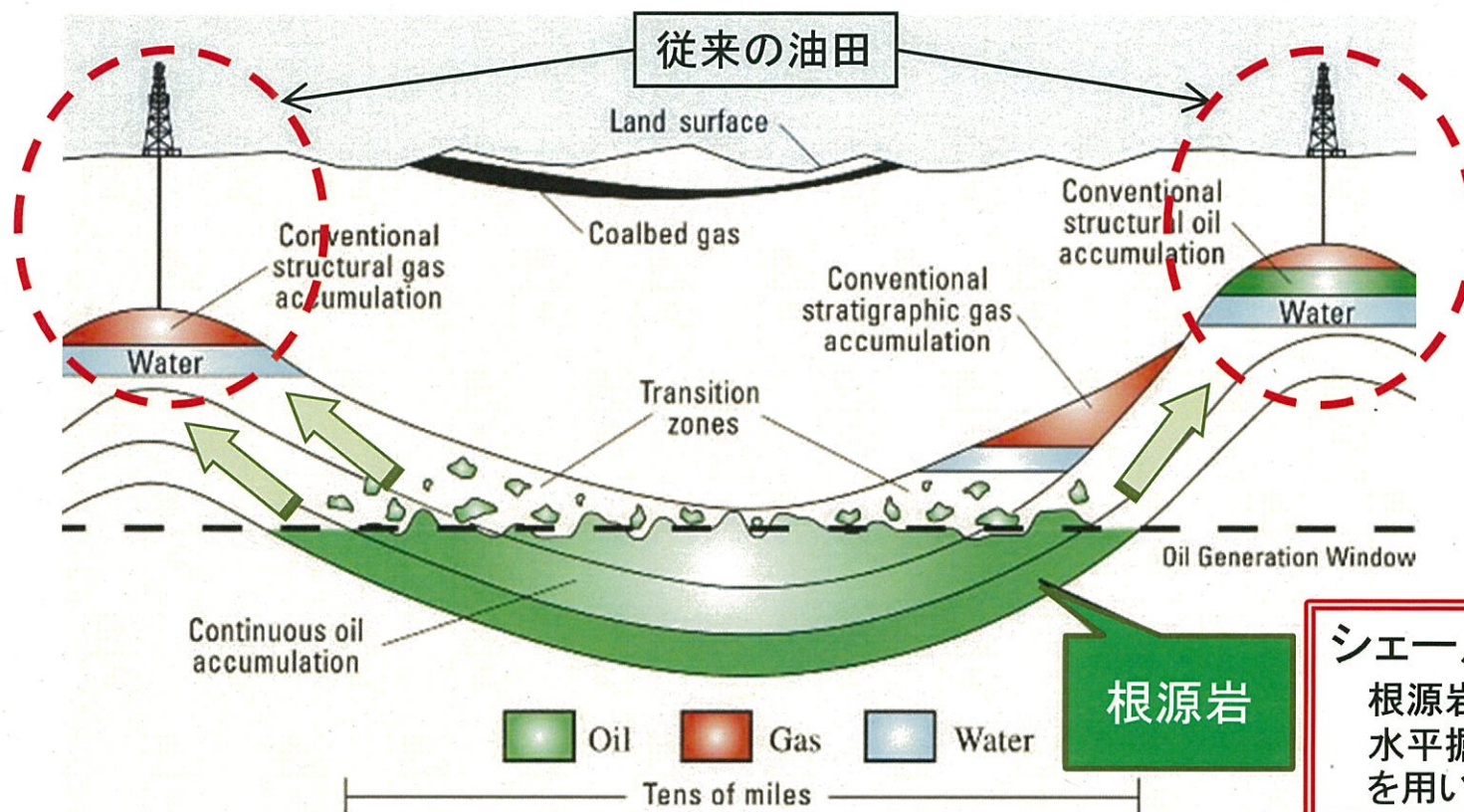


シェールオイルとは？

- 従来油田は、油が生まれる堅く隙間の少ない根源岩から滲み出た油が、長い年月をかけて移動し、砂岩層等の地層に溜まったもの。
- シェールオイルは、根源岩の一種であるシェール（頁岩^{けつがん}）と呼ばれる岩石から滲み出る前の油を取り出したものであり、地下地盤の水平掘りや酸処理技術等近年の採収技術の進歩により、事業採算性が確保が容易になった。
- 米国では、2000年以降、この技術を用いたシェール層からの本格的な油採収を実施中。



シェールオイル：
根源岩から滲み出る前の油を水平掘りや酸処理等の新技術を用いて地表に取り出した油。

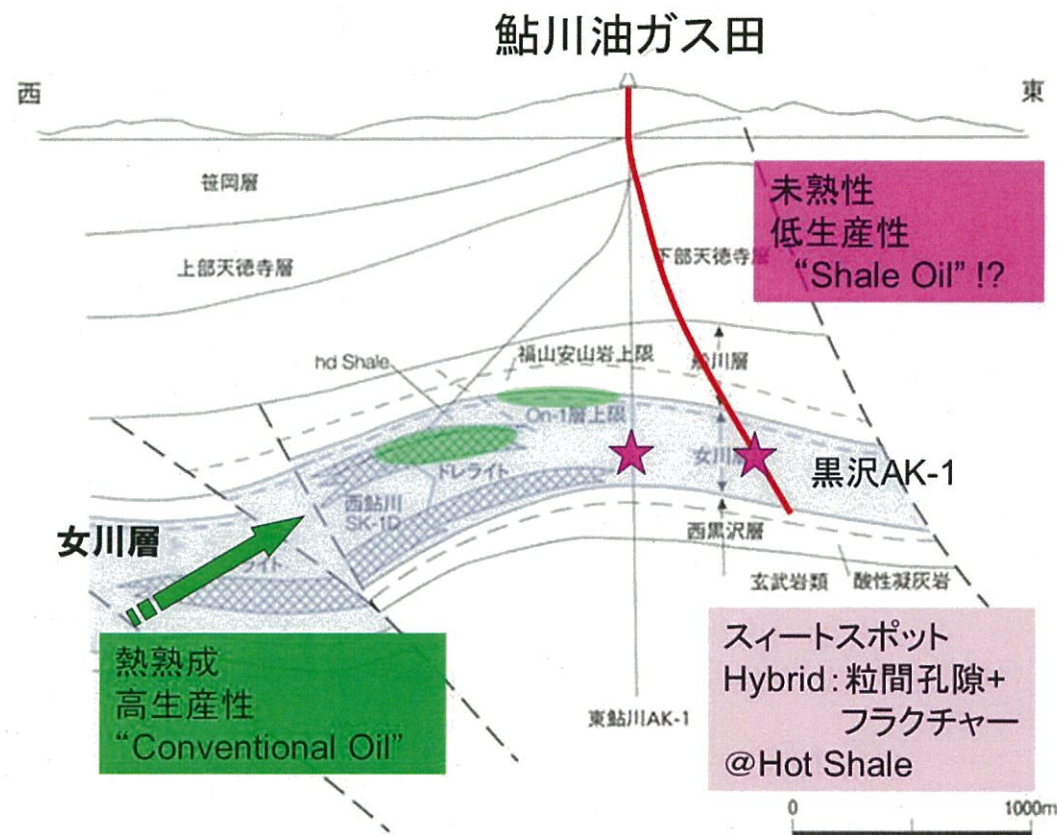
従来油田と根源岩の関係（イメージ）

秋田での実証試験の主な実施内容

◆ 平成24年度

(予算：約1億円 (JOGMEC；1/2補助))

- ✓ 既存の鮎川油ガス田において、女川層へ酸を圧入することにより、油の流れを阻害している女川層の割れ目に詰まっている鉱物等を酸で溶かすとともに、割れ目の拡大による油の流れやすさの変化を調査する。
- ✓ また、圧入する酸は、塩酸がベースであるが、その濃度等の最適設計をする。
- ✓ なお、圧入した酸は、酸の圧入後に回収する油や地下水と一緒に回収して適正に処理。



◆ 平成25年度～ (未定)

- ✓ JOGMECの意向にもよるが、24年度の実証試験結果を踏まえて、石油資源開発が所有する県内の油田において、女川層におけるパイロットテスト（水平井の新規掘削および坑井刺激作業）を実施する予定。

(出典)石油資源開発株式会社説明資料